



祝祭日には



を掲げよう

金山町町制施行101周年記念企画

かねやま未来図

町制施行100周年を迎え新たな一步を踏み出した金山町。「金山の未来」をテーマに各地区からご寄稿いただきました。この節目の年に金山町の未来の姿を想像し、共に希望に満ちた地域社会を築いていきませんか？



▲下中田地区八幡神社

中田囃子若連存続の願い

下中田地区 区長 ^{くりた} 栗田 ^{しずお} 静夫さん

中田地区の八幡神社祭典では、かつて俵神輿や神楽が奉納されていましたが、大火により消失してしまいました。その後、手作りのミニ山車と録音音源で巡回を再開しましたが、「自分たちで演奏したい」という思いが募り、安沢若連の指導のもと猛練習を重ねました。そして地域の皆様や内町若連のご支援を受け、平成7年より念願の「金山まつり」への参加を果たし現在に至ります。結成当初は35名以上いた若連も少子高齢化で激減し、現在は他地区の方々の参加も得て練習に励んでいます。お盆には帰省した若者たちも囃子の音に誘われ集まります。段ボールを叩いて太鼓の練習をした日々や、諦めずに懸命に笛の音を出した喜びを中田の子供たちは知っています。この大切な伝統の灯を絶やさぬよう、皆様のご協力のもと、中田囃子若連の存続と金山まつりへの参加を続けていきたいと心より願っています。

【地区】 26世帯/60名 ※令和8年6月末時点

未来へ残せる集落へ

上中田地区 区長 ^{おおば} 大場 ^{よしのり} 好則さん

我が地区、上中田は県道町道を有せず、国道13号線のみが通る地区です。以前は27戸あった戸数も、現在は14戸に減り、若い人が極端に少なくなり、早朝作業など、地域の活動に支障をきたしている状況です。活動内容については略すべき所は略し、なんとか行っている所です。でも「下を向いてはいけない」と考えております。上中田地区では春のさなぶりなど様々なレクリエーションを行い、本来の意味とは違いますが、山の神のものを借りて、地区住民同士で親睦を図ったりしております。人口減少と高齢化は避けられない課題ですが、地区住民一同、先を見据えて前に向かって行こうと思っております。

【地区】 14世帯/38名 ※令和8年6月末時点



▲上中田地区公民館

編集 後記

町なかを歩いてみると、今月の表紙「良かったね」あの記事読んだよ」と声をかけていただくことが増えました。「いい記事だね」と言われるたびに嬉しくて小躍りしそうなのですが、その数秒後には「来月はどうやって驚かそう」と頭はフル回転。広報担当になって4年目の私は、今月号でついに40冊目を発行しました。毎月、「今回はこの手でいこう」「いや、もっと攻めよう」と悩みながら、キラリと光る金山探しを楽しんでいます。これからも皆さんの日常に「おっ！」という驚きと笑顔をお届けできるよう、カメラと手帳を片手に町中を駆け回りしたいと思います。

金山町の人口は、4,469人（6月末現在）

男性	2,229人（0）
女性	2,240人（-10）
世帯数	1,659世帯

▼6月の異動
出生 0人
死亡 5人
転入 6人
転出 11人